

# リストラ反撃、雇用守る

## 電機・情報ユニオンが大会

電機・情報ユニオンは26日、東京都内で第5回定期大会を開きま



あいさつする米田委員長 26日、東京都内

した。リストラに反撃して雇用と地域経済を守るなどの運動方針と、戦争法廃止を求めると、特別決議を採択しました。

米田徳治委員長はあいさつで、27万人におよぶ大規模な電機リストラは止まらず、処遇制度改悪で深刻化する労働者の現状を告発。「たたかう岩(とり)である労働組合の存在を職場に広く知らせ、一緒にたたかおう

と呼びかけよう」と訴えました。

討論で、富士通の代表は「解雇予定者人数が0人の事業再編」などと申告して多額の減税を受けながら、「やむを得ない事情」として強行した不当解雇に

対するたたかいを発言。パナソニックの代表は、パワハラによる精神疾患に対する労災不支給取り消しと不当解雇撤回を求める訴訟について報告。ルネサ

スの代表は、大量リストラに加えて今も退職が続いており、業務に支障をきたしていると告発。日立超LSIの代表は、退職強要と強制配転について会社が団体交渉にまともに対応しないもとで、「労働者全体のたたかいだ」と理解し、自尊心を保つてたたかいたい」と語りました。

委員長に米田徳治氏、書記長に森英一氏を再任しました。

電機労働者懇談会の今井節生代表、全労連の岩橋祐治組織・法規対策局長、日本共産党の田村智子参院議員らがあいさつしました。